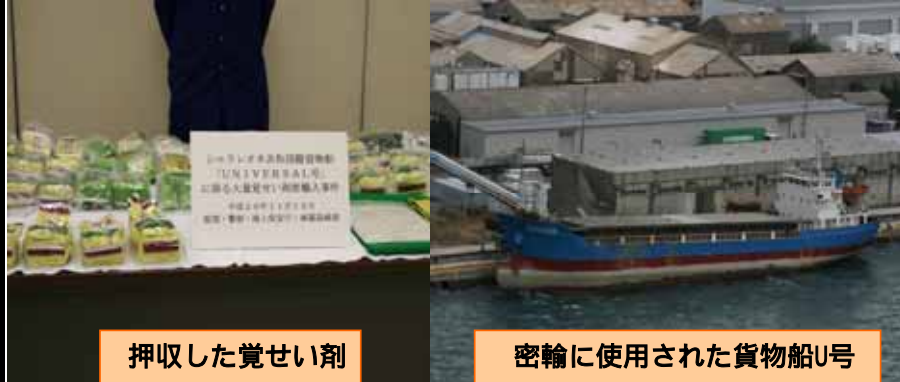


第1位 門司港でシエラレオネ籍貨物船から 覚せい剤約300kgを摘発



押収した覚せい剤

密輸に使用された貨物船U号

11月11日、第七管区海上保安本部、警察、税関及び厚生労働省(麻薬取締部)は、合同で、北九州市門司港に入港中のシエラレオネ籍貨物船の機関室下部に巧妙に隠匿された覚せい剤約300kgを発見、押収し、インドネシア人船長ほか乗組員12名と国内受取側関係者2名を逮捕しました。海上保安庁が関与する事件では歴代2位の押収量となりました。

本部長特別枠 霧による視界制限で関門海峡16時間閉鎖

12月10日0750、関門港の関門航路ほか全航路が、霧のため500m以下となったことから、関門港長は、関門航路等に「入航中止勧告」を発令し、その後、2350までの間、16時間にわたり継続されました。なお、入航中止勧告の発令は5年ぶりの発令となりました。



第2位 北九州市門司区太刀浦岸壁に 着岸中の台船が爆発、炎上

11月4日、北九州市門司区太刀浦岸壁に着岸していた台船が爆発、炎上しました。約4時間にわたる消火活動の結果、無事鎮火しました。この火災により負傷者が発生したものの、命に別状はありませんでした。



消火活動にあたる巡視艇



鎮火後の台船

第3位 五島西方沖に謎の物体が漂流

7月29日、長崎県五島列島西方の海上に直径3~4メートル、長さ25メートルの白色円筒型鋼管1本(巨大物体)が漂流していました。円筒型鋼管には「警告」、「20kPa窒素充填」、「真空」との記載があったことから、機動防除隊が現場に駆けつけ、確認作業を行った結果、安全であることが判明しました。その後の調査で同物体は、中国の圧力容器製造業者が製造した高圧貯蔵容器であることが判明し、上海からシンガポールに搬送中に台風の影響で落下したことが分かりました。



巨大漂流物を調査する機動防除隊

第4位 領海警備法を適用し、外国船舶に対し 全国で初の退去命令発出

7月9日、門司海上保安部は、日本の領海内を徘徊しているカンボジア籍貨物船に対し、7月1日に施行された「領海等における外国船舶の航行に関する法律」第6条に基づく立入検査を実施した結果、合理的な理由なく、領海内で徘徊していたことが判明したことから、同貨物船に退去命令を発出しました。なお、領海警備法に基づいて、外国船舶に対し退去命令を行ったのは全国で初めてのケースとなりました。



第5位 偽造船員手帳を所持していた中国人船員を逮捕

2月29日、下関海上保安署は、下関に入港した中国籍貨物船の立入検査を実施したところ、乗組員8名のうち2名の海員証が偽造されていたことから、出入国管理及び難民認定法違反(不法入国)の容疑で通常逮捕しました。



正規のもの

証 Visas

第6位 警備救難競技大会 総合2位 制圧の部優勝

11月20日、七管区の選抜選手は、第三管区海上保安本部横浜海上防災基地において実施された平成20年警備救難競技全国大会に出場し、制圧の部では、各管区、海上保安大学校及び海上保安学校から各5名、総員65名の中、予選リーグ、決勝トーナメントに進み、見事優勝しました。また、競技種目ごとの評価点の合計による総合(制圧の部、けん銃の部、人命救助の部)では、準優勝をおさめました。



制圧の部

第7位 設標船「かいおう」が解役



3月31日、第七管区海上保安本部所属設標船「かいおう」が解役しました。「かいおう」は昭和55年に就役以来、新潟県~山口県の日本沿岸海域、瀬戸内海及び九州沿岸海域を約41万キロメートル航走し、延べ、4,200基の灯浮標の交換作業を実施しました。

第8位 不法出入国事件(宇部港、呼子港)



EVER MASAN

平成19年9月に佐賀県呼子港から韓国人12名が不法出国し、韓国捜査当局に摘発された事件について、国内密航ブローカーを内偵捜査中であったところ、本年5月に山口県宇部港で発生した韓国人不法出入国事件にて逮捕した韓国人密航ブローカーが関与していたことを突き止め、関係者を相次いで逮捕し、事件の全容を解明しました。

第9位 30メートル型巡視艇3隻の解役及び就役



やえぐも

なつぐも

あきぐも

対馬海上保安部所属巡視艇新「やえぐも」、巡視艇新「なつぐも」が、3月4日に就役し、比田勝海上保安署所属巡視艇新「あきぐも」が3月10日に就役しました。

第10位 海上保安制度創設60周年記念にあわせて 管内各地で記念イベント実施

海上保安制度創設60周年記念にあわせ、巡回パネルを管内各地に展示するなど、様々な記念イベントを実施しました。



かいほフェスタ in 門司港

めんたいキング